

---

# 脱出(志真サイド)

神童サーガ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

脱出（志真サイド）

### 【Zコード】

N4878F

### 【作者名】

神童サーチガ

### 【あらすじ】

脱出の志真ちゃんの視点です。一人の名前も分ります。まだ両思いになりませんが、志真ちゃんの内心が分ります。

信じたくない。私の幼馴染みが、私を庇つて撃たれた。  
あれから数日たったのに、目を覚ます気配は無い。  
私は、事件の日を思い出してた。

一つの銃声がした途端に、ドサッと私に何かが乗つかつてきた。  
重いなあと場違いな事を考えていたけど、すぐに消えた。

「・・・」

今見た物を忘れさせて・・・。

「和馬……」

真綾も私と同じくしてる。まさか、空陽も撃たれたの?  
なんで、そんな酷い事出来るの?

「カズマ……」

「ハヅキ……泣かないでください」

泣いてないよ。」これは、ほらつ心の汗だよ……しょっぱいもん……

「ばーか……目から……出るんですか?……」

喋るな……。傷が酷くなる。

「……あっちも……言つてますよね?」

なにを……?

真綾の方を見ると、空陽が真綾の頬を触つてる。

「……ハア……ハア……聞け……」

いつもの敬語じゃない。余裕が無いんだ。  
私は、頷くしか出来なかつた。

「僕は……葉月……が……好きだ」

え？・・・嘘だ。あんなに苛めて。分った、またからかってるんでしょ？

「葉月・・・」

和馬が何か言おうとしたら、真綾が動いた。

銃を持つてんだよ！？危ないよ！！

真綾の手は、朦朧としていた。

まばたきをした途端に、真綾は消えた。

そして、気がついた時には、男は倒れていた。

真綾は倒れた。私は、心配で行こうとしたけど、先に電話しなくてはと思い、小屋を出た。

「あ・・・」

「君も捕まつてたの？」

女の子がいた。私達と同じく捕まつてたらしい。

「携帯ある？私の落としちゃって」

「う、うん」

私は、携帯を借りて警察と救急車を呼んだ。  
数分後に来た。私は案内した。  
空陽と和馬は、救急車に運ばれた。  
その様子を見ていた真綾は呆然としてた。

「タクシーも呼んだから病院行こう？」

私の言葉に、返事すらしなかった。  
たぶん、耳に入つてないんだろう。  
真綾の肩を支えてタクシーに乗り込んだ。  
真綾に、話を聞かれた。あの男を倒した出来事を・・・。  
正直、あの時は私も焦つてたし、速過ぎて見えなかつた。  
あの屋敷にいたのは数名だつたらしいつて言つたら・・・。

「あの・・・嘘つきめ」

「うん・・・誰も怪我が無くて良かつたね」

本当に怪我人が、一人だけで良かつた。救急隊員に聞いたら、大丈夫つて言ってくれたから良かつた。

「あの男ね・・・精神異常者だつたんだつて・・・自分は神だ・・・この世界を救うのは自分だつて・・・」

「そんな言葉で片付けられてもね」

うん。なにが神よ・・・。心に負つた怪我は癒されない。  
許せない。和馬に怪我を負わせた事に・・・。

いつの間にか病院に着いた。

私達は降りて、病室を聞いて行つた。

ムサシノ園の病院

左腕にある銃の後が、生々

左脇はある鉢の後が生きしくない  
何を言つてやれば良いのかな・・・。  
心が苦しい

「つ・・・和馬・・・私ね・・・・・・・小さい頃から守つて貰つたよね・・・・高い木に登つて降りれなくなつた時も・・・犬に追いかけられた時も・・・・・・・・・そして、今も・・・・・

L

涙が止まらない。ポタポタと和馬の手に落ちた。

「こつも・・・」の手で・・・救ってくれた・・・ドジな私  
も・・・」

二

和馬の手を私の頬に触れさせる。

ゾクッとするほど冷たい手に、涙が零れた。

「好きよ・・・和馬・・・・・意地つ張りな・・・貴方も・・・・  
頑固なところも・・・・・いじわるなところも・・・・・大好きです」

私の言葉に和馬の手が、優しく耳に触れた気がした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4878f/>

---

脱出(志真サイド)

2011年10月5日11時20分発行